



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場会社名 阿波製紙株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3896 URL <http://www.awapaper.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 康弘  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員経営管理部長 (氏名) 吉井 康夫 TEL 088-631-8101  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,960	4.7	236	-	176	△20.3	42	△78.4
26年3月期第2四半期	7,600	△10.4	19	△95.9	221	△48.2	196	△16.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 79百万円(△76.9%) 26年3月期第2四半期 344百万円(14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	4.17	—
26年3月期第2四半期	19.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,333	6,187	28.4
26年3月期	17,391	6,134	27.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,918百万円 26年3月期 4,822百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	6.4	550	117.0	400	△31.2	200	△51.5	19.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	10,172,676株	26年3月期	10,172,676株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,810株	26年3月期	1,810株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	10,170,866株	26年3月期2Q	10,170,866株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

## ①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策などを背景とした、雇用環境の改善や設備投資の持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、消費増税前の駆け込み需要の反動から生産の減少や個人消費の回復の鈍さが続き、さらには海外景気の下振れリスクなどから、景気は先行きに不透明感の残る状況が続いております。

当社グループの関連市場である自動車部品業界は、国内では消費増税前の駆け込み需要の受注残対応や完成車メーカーの新車投入への対応などが販売を下支えしましたが、増税後の反動減も顕在化し、総じて厳しい状況で推移しました。また海外では、北米において需要が堅調であるものの、競争は激しさを増しております。世界の水ビジネス市場においては、引続き競争が激しさを増しているものの、新たな環境需要や更新需要の対応などにより市場は拡大傾向で推移いたしました。

当社グループは、このような状況において、主にアジア地域を中心に海外市場への拡販活動を推進するとともに新商品の市場展開・事業化に取り組んでまいりました。さらに、生産性の向上や業務の効率化などの取り組みにより原価低減を図り、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,960百万円(前年同四半期比360百万円増、4.7%増)となりました。利益面では、営業利益236百万円(前年同四半期比217百万円増、1,137.8%増)、経常利益176百万円(前年同四半期比44百万円減、20.3%減)、四半期純利益42百万円(前年同四半期比153百万円減、78.4%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間の主要な品目別売上高の状況につきましては、次のとおりであります。

なお、当社グループは、機能材料の製造・販売を事業内容としており、単一の事業活動を行っておりますので、品目別に記載しております。

## ②品目別売上高の状況

## [自動車関連資材]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,022百万円(前年同四半期比134百万円減、2.6%減)となりました。

## [水処理関連資材]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,030百万円(前年同四半期比377百万円増、22.8%増)となりました。

## [一般産業用資材]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、907百万円(前年同四半期比117百万円増、14.8%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、17,333百万円となり、前連結会計年度末より57百万円減少しております。これは主に有形固定資産の増加216百万円、原材料及び貯蔵品の増加109百万円、商品及び製品の増加105百万円があったものの、現金及び預金の減少503百万円があったことによるものであります。

負債総額は11,145百万円となり、前連結会計年度末より111百万円減少しております。これは主に短期借入金の増加227百万円、支払手形及び買掛金の増加166百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加129百万円、設備関係支払手形の増加113百万円があったものの、長期借入金の減少441百万円、流動負債のその他に含まれる未払金の減少315百万円があったことによるものであります。

また、少数株主持分を除く純資産につきましては、4,918百万円となり、前連結会計年度末より96百万円増加しております。これは主に利益剰余金の増加71百万円があったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は28.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は658百万円となり、前連結会計年度末と比較して、466百万円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、391百万円（前年同四半期比536百万円減、57.8%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益176百万円、減価償却費318百万円、仕入債務の増加額203百万円の増加要因があったものの、たな卸資産の増加額272百万円の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、657百万円（前年同四半期比75百万円増、13.0%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出681百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、181百万円（前年同四半期は407百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の純増額223百万円の増加要因があったものの、長期借入金の純減額273百万円、少数株主への配当金の支払額55百万円、配当金の支払額50百万円の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」における連結業績予想の数値から変更はありません。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の見込支払日までの平均期間に近似した年数を反映した単一の割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が123百万円減少し、利益剰余金が79百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,562,028	1,058,527
受取手形及び売掛金	2,826,933	2,784,108
商品及び製品	906,170	1,011,763
仕掛品	681,004	711,462
原材料及び貯蔵品	652,243	761,368
繰延税金資産	112,465	128,724
その他	95,742	138,564
貸倒引当金	△72	△74
流動資産合計	6,836,516	6,594,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,601,024	3,030,147
機械装置及び運搬具(純額)	1,196,773	2,427,124
土地	3,843,832	3,839,179
リース資産(純額)	203,873	179,723
建設仮勘定	1,728,180	277,778
その他(純額)	291,752	328,089
有形固定資産合計	9,865,436	10,082,043
無形固定資産		
投資その他の資産	35,257	24,321
投資有価証券	264,801	299,319
繰延税金資産	258,567	209,148
その他	131,592	124,895
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	653,961	632,363
固定資産合計	10,554,655	10,738,728
資産合計	17,391,171	17,333,173

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,988,726	3,155,404
短期借入金	1,186,984	1,414,086
1年内返済予定の長期借入金	954,993	1,084,203
未払法人税等	17,061	109,188
賞与引当金	207,359	239,721
設備関係支払手形	69,576	183,482
その他	774,223	478,628
流動負債合計	6,198,925	6,664,714
固定負債		
長期借入金	3,372,475	2,930,646
リース債務	163,669	139,447
再評価に係る繰延税金負債	776,455	776,455
環境対策引当金	14,312	14,312
退職給付に係る負債	709,594	598,658
資産除去債務	21,526	21,526
固定負債合計	5,058,034	4,481,046
負債合計	11,256,959	11,145,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,385,137	1,385,137
資本剰余金	1,375,899	1,375,899
利益剰余金	613,569	684,900
自己株式	△521	△521
株主資本合計	3,374,084	3,445,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,423	42,345
土地再評価差額金	1,401,176	1,401,176
為替換算調整勘定	34,953	36,361
退職給付に係る調整累計額	△10,204	△6,803
その他の包括利益累計額合計	1,448,347	1,473,079
少数株主持分	1,311,779	1,268,916
純資産合計	6,134,211	6,187,412
負債純資産合計	17,391,171	17,333,173



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,600,941	7,960,996
売上原価	6,555,360	6,661,037
売上総利益	1,045,581	1,299,959
販売費及び一般管理費	1,026,502	1,063,811
営業利益	19,078	236,147
営業外収益		
受取利息	5,484	4,658
受取配当金	3,590	4,061
為替差益	190,000	—
技術指導料	86	833
その他	37,440	12,115
営業外収益合計	236,601	21,668
営業外費用		
支払利息	22,064	21,870
手形売却損	795	1,386
為替差損	—	46,895
その他	11,566	11,380
営業外費用合計	34,426	81,533
経常利益	221,254	176,283
特別利益		
固定資産売却益	807	1,442
受取補填金	41,354	—
特別利益合計	42,162	1,442
特別損失		
固定資産除却損	1,202	1,430
特別損失合計	1,202	1,430
税金等調整前四半期純利益	262,213	176,294
法人税、住民税及び事業税	10,914	112,179
法人税等調整額	△7,097	△23,297
法人税等合計	3,816	88,882
少数株主損益調整前四半期純利益	258,396	87,412
少数株主利益	62,097	45,021
四半期純利益	196,299	42,391

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	258,396	87,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,993	19,922
為替換算調整勘定	84,566	△30,923
退職給付に係る調整額	—	3,401
その他の包括利益合計	86,560	△7,600
四半期包括利益	344,957	79,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,365	67,124
少数株主に係る四半期包括利益	184,591	12,688

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	262,213	176,294
減価償却費	310,721	318,997
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28,549	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,168	32,361
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	18,240
受取利息及び受取配当金	△9,074	△8,719
支払利息	22,064	21,870
有形固定資産売却損益(△は益)	△807	△1,442
有形固定資産除却損	1,202	1,430
受取補填金	△41,354	—
売上債権の増減額(△は増加)	△70,521	13,755
たな卸資産の増減額(△は増加)	80,488	△272,718
仕入債務の増減額(△は減少)	517,434	203,832
その他	△177,267	△88,098
小計	944,816	415,804
利息及び配当金の受取額	9,126	10,822
利息の支払額	△22,316	△21,819
法人税等の支払額	△45,292	△13,676
補填金の受取額	41,354	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>927,689</b>	<b>391,130</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△218,222	△285,310
定期預金の払戻による収入	92,400	314,884
有形固定資産の取得による支出	△448,290	△681,867
有形固定資産の売却による収入	1,233	1,442
無形固定資産の取得による支出	△3,486	△88
投資有価証券の取得による支出	△3,570	△3,689
その他	△1,623	△2,390
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△581,559</b>	<b>△657,018</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△85,208	223,698
長期借入れによる収入	1,302,500	200,000
長期借入金の返済による支出	△713,201	△473,864
配当金の支払額	△71,196	△50,854
少数株主への配当金の支払額	—	△55,550
その他	△25,072	△25,357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>407,821</b>	<b>△181,928</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,155	△18,267
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	785,107	△466,083
現金及び現金同等物の期首残高	731,970	1,124,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,517,077	658,570

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、機能材料の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。